

# 効果⑤ 通行止め時の広域迂回ルートが確保

- 外環道など圏央道周辺の高速道路で通行止が発生しても、圏央道を利用して迂回することで、一般道での渋滞を回避



## 川口JCT～鶴ヶ島JCTのルート

- ◀ ◻ ◻ ◻ ▶ 圏央道開通前の迂回ルート (関越道・一般道・外環道利用)
- ◀ ◻ ▶ 圏央道開通後の迂回ルート (圏央道・東北道利用)

## <外環道通行止発生時の川口JCT～鶴ヶ島JCTの所要時間(推定)>

- ・関越道・一般道・外環道利用 : 約50分 (所沢IC～和光ICは一般道(国道254号)利用)
- ・圏央道・東北道利用 : 約35分

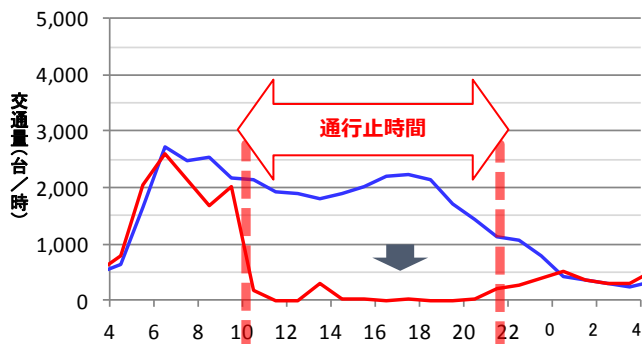
【参考:通行止めが発生していない場合】  
 ・関越道・外環道利用 : 約30分

出典: NEXCOデータ、H22センサスデータより算出

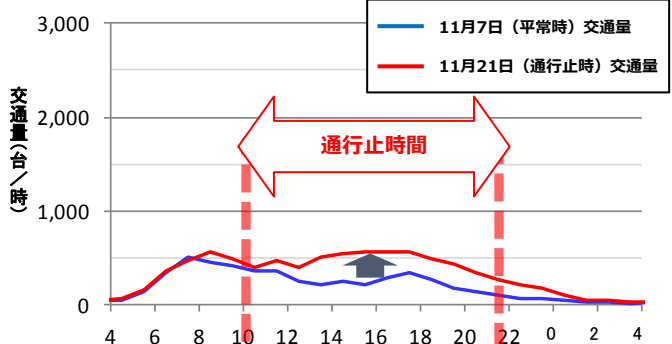
## <外環道の通行止発生事例>

① 通行止区間:大泉JCT～和光IC(内回り) 通行止時間:H27年11月21日(土) 10:10～21:45

### 外環道 (大泉JCT～和光IC内回り)

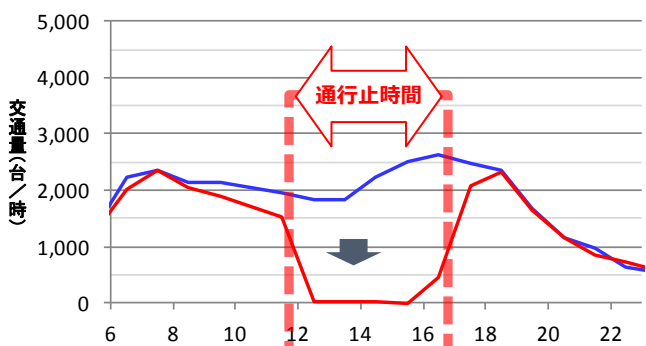


### 久喜白岡JCT Hランプ (東北道下り⇒圏央道内回り)

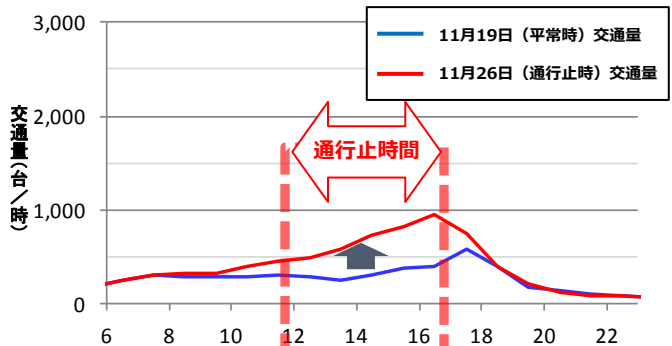


② 通行止区間:大泉JCT～和光IC(外回り) 通行止時間:H27年11月26日(木) 11:55～16:40

### 外環道 (大泉JCT～和光IC外回り)



### 久喜白岡JCT Eランプ (圏央道外回り⇒東北道上り)



※出典:NEXCOデータ